

伊那市「学校教育情報化ビジョン 2024」

伊那に生きる ここに暮らし続ける

帰ってきたくなる伊那市

暮らし続ける伊那市

子育てしたくなる伊那市

伊那市が目指す学びの姿

探究的な学び

先進的な学び

地域を知り伊那市の未来を考える人

新産業時代において世界を相手に活躍できる人

伝統を重んじ未来を創造する人

子どもと共に
未来を創る教員

個別最適な学び
協働的な学び
自立的な学び

伊那市「学校教育情報化ビジョン2024」について

探究的な学び



社会の急激な変化による複雑で予測困難な時代を生き抜くためには、探究的な学びを通して培われる、問題を解決し、責任をもって具体的に行動する力が必要となる。伊那市の「探究的な学び」は、子どもたちの様々な学びを通して、子どもたちの願いを大切に、体験の中で生まれる課題や問題を自分自身で見つけ解決し、多様な考えに触れながら創造（発見と感動）をもって生涯にわたって学び続ける力を育むことを目指している。

- 子どもの「知りたい」「わくわく」「好き」を重視
- 教科における探究の充実
- 総合的な学習の時間における教科横断的（STEAM）な探究
- 体験や情報収集に基づく問いの発見
- デジタル（文字・音声・写真・ビデオ・URL）ノートによる探究の記録
- 探究過程・成果の発信と交流
- 地域素材・人材で豊かになる探究

先進的な教育の創造と先進的技術の教育への活用を目指す。

これまでの伊那市での実践とICTとを最適に組み合わせることで、これからの学校教育を大きく変化させ、さまざまな課題を解決し、教育の質の向上につなげる（先進的な教育の創造）。

また、子どもたちの学び方をより豊かなものにするために、可視化が難しかった学びの知見の共有や、これまでにない知見の生成を可能にするために先進技術を活用する。近年のデータサイエンスの進展や、いろいろな場面でデータに基づいた意思決定が重視されるようになったことから、義務教育においてデータ活用能力を育成する（先進的技術の教育への活用）。

- 伝統を重んじつつ革新的な教育を目指す
- 子どもたちの生きる未来を意識した教育
- 先端技術の教育への積極的活用
- データ活用・分析（データサイエンス）できる人材の育成
- デジタル・シティズンシップ（情報モラル）

先進的な学び



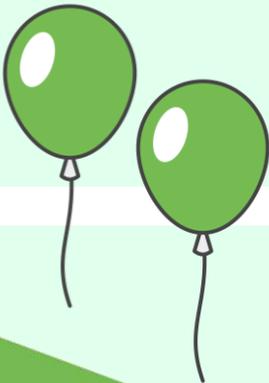
子どもの興味・関心等に応じた目標・内容・方法の学びに取組み、一人ひとりの特性や進度、到達度等に応じ、指導方法・教材等を柔軟に設定する個別最適な学びを進める。また、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な他者と協働して問題を解決し、新たな価値を創造する。そして学習課題や学習活動を選択する機会を設け、自分で計画を立て自分で進められる自立した学びを目指す。

- デジタル環境による個別最適な学び
- クラウドを活用した対話的な学び
- 時間と空間の制約を取り払う遠隔教育
- 特別な支援を要する児童生徒を支えるICT環境
- AIを活用した強化された学びの環境
- 自立的な学びを支えるICT環境

個別最適な学び

協働的な学び

自立的な学び



子どもと共に 未来を創る教員

教師は子どもたちの主体的な学びの伴走者となるため、新たな学びのあり方を理解し、教師自身もまた学び続けていくことが重要。そのために子どもたちと共に模索していく教師を目指し、学びの機会や教員間のコミュニティを創設する。

- 教員デジタルコミュニティ活性化
- 授業改善に関する研修研究機会の充実
- 教育データの積極的活用
- 校務のDX推進